Rotary
第2760地区

2019-20年度
地区研修・協議会報告



第2760地区2018-19年度
地区研修・協議会　実行委員長
夏目雅康



2019-20年度　地区研修・協議会が２０１９年４月１４日、ホテルナゴヤキャッスルにて、参加者８５クラブ、登録会員1814名をお招きして盛大に開催されました。
私たち豊川宝飯ロータリークラブは、ホストクラブのご指名を受け、役割を果たすべく準備を進めて参りました。

午後１時、本会議が伊藤靖祐ガバナーエレクトによる“ロータリー100周年の鐘”の点鐘で始まり、村井總一郎ガバナーのご挨拶、ホストクラブの柴田浩志会長の歓迎の挨拶、伊藤靖祐ガバナーエレクトの所信表明がありました。

伊藤靖祐ガバナーエレクトの地区方針は「グローバルに考え　地域社会とつながり　ロータリーを成長させよう　～ポスト平成のクラブをデザインする～　」を掲げられ、伊藤靖祐ガバナーエレクトの熱意ある説明がとても印象的でした。



特別講演は、第２ゾーン、ロータリー公共イメージコーディネーター　第2610地区パストガバナー　柳生好春様にお越しいただきまして「いま、なぜ公共イメージと認知度の向上か」と題して、大変貴重なお話を伺うことができました。

本会議の後は、第１～第９分科会に分かれ、各部会では約100分にわたり、それぞれの分野の次年度に向けた活発な討議、議論が行われました。各分科会のリーダーの皆様には、この日に向けて、地区委員会を開催して、資料の準備などして頂いたことに感謝申し上げます。各クラブの次年度委員長の皆様がメモを取りながら、

分科会リーダー、アシスタントリーダーのお話を聞かれていました。

分科会後の本会議では、伊藤靖祐ガバナーエレクトのまとめ、地区研修リーダーの加藤陽一パストガバナーからの講評を頂きまして、最後に伊藤靖祐ガバナーエレクトの点鐘で2019-20年度地区研修・協議会が滞りなく終了しました。最後までご出席いただいた真のロータリアンの皆様に感謝申し上げるとともに、各クラブの次年度ロータリー活動が活発に行われることをご祈念申し上げます。



